

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年1月31日】第111号



## 検温・健康観察を忘れずに

新型コロナウイルスの勢いは衰えません。しかし、感染防止の基本、すなわち、3つの密を避ける、手洗いの励行、マスクの正しい着用、換気などが重要であることに変わりはないのです。そして子どもたちは、毎日真剣にこれらを実行しようとしています。一方、保護者の協力が必要なものの一つに、毎日の検温・観察があります。登校前に検温し体調を確認すること、これは必ず親子で取組んでほしいことです。また、子どもだけでなく、同居家族についても検温・健康観察していただくことを期待しています。

農大稲花小では、まん延防止等重点措置が実施されるようになって以来、朝の会などの機会に登校前の検温・健康観察について子どもたちに確認するなど、取り組みを強化しています。検温を保護者に任せきりにするなど検温・健康観察に対する意識の低い子どももいましたが、徐々に改善されてきています。保護者の皆様にも、子どもの発達に合わせ検温・健康観察ができるように見守りをお願いします。また、体調不良が認められた子どもについては、登校について慎重に判断してください。

## 逆立ちして飲む牛乳

1月18日(火)、東京農業大学第一高等学校・中等部校長田中越郎先生が、3年生を対象に、「逆立ちしても牛乳が飲めるわけ」というタイトルで授業をしてくださいました。田中先生は東京農業大学名誉教授でもあり、また医学博士でもあります。まず、希望者を募って逆立ちをしてもらい、口に含んだ牛乳が飲めるかどうかの体験です。逆立ちをした友だちを、子どもたちはちょっと心配そうに見ていましたが、無事に「ゴックン」と牛乳を飲むことができたときは歓声があがりました。どうして、寝転んでも、逆立ちしても牛乳が飲めるのか、考え学ぶのです。また、心臓の弁が4つあること、しかし、その弁の開閉の音は4つ聞こえないことなどをお話していただき、カスタネットで実演した後、全員がそれぞれ聴診器で自分の心臓の音を聞きました。命を救うという医師の仕事に興味のある子どもも多くいます。このような体験を通して、子どもたちは体の仕組みにさらに興味を持ったようです。



## 給食試食会は中止に

1月31日(月), 2月1日(火), 2月2日(水)そして2月4日(金)に予定していた保護者対象の給食試食会は、まん延防止等重点措置が実施されたこともあり、中止としています。1年生と2年生の学級別に、保護者の皆様に給食を味わっていただくこと、そして子どもたちと同じように黙食を体験していただくことを目的に準備をしていただけに、残念です。しばらくの時間、お待ちいただくことになりそうですが、安全が確保できるようになったらぜひ開催したいものです。

給食試食会だけではありません。学校の学習や行事にも様々な制限が多く、今までできたこともできなくなることの多い毎日です。しかし、できないことを嘆くのではなく、いつかぜひという前向きな姿勢は忘れたくありません。今は何より、心とからだを健やかに保つことに注力するのが大切だと考えています。

## 菜の花が咲いた

東京農業大学 造園科学科の金澤弓子先生の指導で1年生が播種した秋播き草花、ナバナ、ネモフィラ、ヤグルマソウ、キンセンカが、すくすくとプランターで育っています。ナバナ(菜の花)は寒咲き品種なので、すでに満開です。種もできてきました。



1月28日(金), 1年生はこのナバナの花を、一人一台ずつの実体顕微鏡で観察しました。花弁、がく、おしべ、めしべなどに上手に解剖できた子どももいますし、おしべとめしべをどこかに落としてしまい、花をもう一つもらって再度チャレンジする子どももいます。最初はちょっと大騒ぎでしたが、花の観察のあとは、いくつかの種子の観察、さらにツワブキの冠毛(綿毛)の観察もすることができました。1年生ですので、花の構造の観察あるいは種の観察そのものよりも、まずは実体顕微鏡を大切に扱うこと、そして実体顕微鏡で何でも大きくして見るという楽しさを知ってほしいと思っています。「今日は、顕微鏡を使います」と伝えたときの子どもたちの表情、観察に集中する様子は、教える方としても本当にうれしいものでした。学ぶことが楽しい、質問したい、やってみよう、という子どもたちの気持ちを失わせてはならないと、改めて心しました。

校長 夏秋 啓子